団体名: 一宮商工会議所

+ 444. 69	+### (#P 04)	# # ch / t	主たる	事業評価																											
事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	対象者	目 標①				目 標②				得られた効果				ABCD評価				今後の展開・改											
巡回·窓口相談指 導事業	巡回・窓口相談事業を通じ、物価高騰やエネル模字コストの上昇に苦しむ小規模施策をもの細か明等のであるととして、経営力再報性定型支援を実施し、経営力再の経営課型の把握と課題解決に導く。また、「経営革斬等認定支援機関」として、各種補助金の紹介や申請書作成支援等を行う。	巡回窓口指導 実企業数 1,526社 延指導件数 3,614社 內排会員 実企業数 496社 延指導件数 836社 課題解決提案件数 107件	1 10 14 + 40 +	指標	巡回窓口指導延件数		課題解決提案件数 指標 (達成度 107.0 %)			物価高騰やエネルギーコストの上昇等小規模事業者を取り巻く補助のと立をを中心とした各種支援施策について効果的な情報提供、活	総合	4	事実	自己評価 B	調査	満足度	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	今後は特に巡回件数 を増加さい。 を増加り、業者へ政のはきり 規模事業者へ政上げ現 が提及上げ環向 が提及を が提及を がした。 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は											
			小規模事業者	目標数値	3500	実績数値	3614	目標数値	100	実績 数値 107	一用支援ができた。 また、販路開拓を中心に課題解決策を提案することが	評価	A p	平側	目標達成度	は度はます。	必要性	-	実施方法①	実施方法②	上等の補助金・助成 金を中心とした各種 支援施策の情報を提 供する。										
				双胆		双胆		双胆		数 匝		できた。				А		Α		現行どおり	現行どおり										
				指標	指導事業者数		指標			適宜、経営状況を把握することができた。	総		##	自己評価	事	満足度	補足	目標①	目標②	引き続き電子申告 (e-Tax) による代											
記帳継続指導事業	市内小規模事業者で個人事業者かつ青色申告初心者を対象に、	指導対象者数 126人 指導延日数 672日	小規模事業者 (内個人事業	1615	(達成度	或度 105.0 %)		(達成度		隻 %)		引き続き、インボイス制度	合	Δ 1	業施	Α	調業者	Α		現行どおり		理送信の普及に努め ていく。									
10 12 12 12 12 17 7 X	経理事務の基本知識や税務申告 手続き等の実務の習得を促す。	指導延回数 1555回	者を対象)	目標	120	実績	126	目標		実績		の啓蒙や発行事業者の登録、代理送信の普及に寄与	評価	. E	評側	目標達成度	結への	必要性		実施方法①	実施方法②										
				数值		数値		数值		数値		した。				Α	"	Α		現行どおり		A*									
	·集団 小規模事業者の経営課題解決に	講習会開催回数及び受講者数集 団 6回 47人 (内 経営革新 1回 7人) 個 別 45回 266人	小規模事業者	指標	集団指導参加延人数		個別指 指標		指導参加延人数		小規模事業主の資質向上に 寄与した。				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	企業ニーズに合致 た実用的かつ効果的なセミナーを開催す										
講習会等事業	必要な知識や技能習得のため、 講習会を定期的に開催し、人材 育成・技術の向上を図る。 ・個別 複雑・多様化する経営上の課題に				(達成度	Ę 94. O	%)			度 133.0 %)			総合	7	事実 業施	А	調業 査 素	Α		現行どおり	現行どおり	る。									
				目標数値	F0	実績	47	目標	000	実績	000		評価	, , I II #	評側	目標達成度	結果の	必要性		実施方法①	実施方法②										
	対し、専門相談員が随時対応し、 問題解決を目指す。				億 50	47	数值		数值	266					А		А		現行どおり	現行どおり											
講習会等事業 (国補助金活用 分)	事業環境変化対応型支援事業費 補助金等を活用し、デジタル化 やインボイス制度、価格転嫁に 苦慮する中小・小規模事業者向 けに講習会や個別相談会等を実	請習会開催回数及び受講者数 集 団 6回 80人 個 別 60回 114人	中小・小規模 事業者	+15.475	集団指導参加延人数 (達成度 88.9 %)		延人数	個別 指標		別指導参加延人数		国からの補助金を活用し、 小規模事業者のDX化の推進	40	-	# æ	自己評価	5	満足度	補足	目標①	目標②	企業ニーズに合致し た実用的かつ効果的									
				指標			%)	拍標	(達成度 57.0 %)		%)	に寄与した。	総合		∌美 業施	В	調業 査者	Α		現行どおり		なセミナーを開催す									
				目標 数値	90	90 実績	80	目標	200	実績	114		評価	B	評側	目標達成度	結果の	必要性		実施方法①	実施方法②										
	施する。					数值		数值		数値		若手経営者、女性経営者ら		+		С	+ "	Α		現行どおり	現行どおり	目標①の内容を「青									
	若手後継者等の育成支援を通じて自社経営の組織力強化・資質向上を図り、次世代への円滑な承継に寄与する。	青年部 資質向上セミナー 6月11日 58人	中小・小規模 事業者		青年部事業参加人数				女性会事業参加人数		の資質向上の一助となった。				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	年部事業参加人数」 から「東海ブロック										
		商工会議所青年部全国大会(福 岡県)		指標			%)	指標	(達成度	達成度 189.3 %)			総	4	事実	А	調事	А		上げる	上げる	大会参加人数」に変 更する。 									
若手後継者等育成 事業		2月14~15日 2人 女性会 指導者資質向上セミナー 9月17日 50人 全国商工会議所女性会連合会全 国大会(送買県) 11月7~8日 3人							1 1		1	合評		業施 評側		査者	占														
学 术				目標	60	実績		目標		実績	53		価	1-		目標達成度	度	必要性		実施方法①	実施方法②										
				数値	62	数値	00	数值	20	数值	33					А		А		変更する	現行どおり										
	倒産の恐れのある中小企業・小規模事業所等の相談を受け付ける。改善の見込める事業については再建の方策を講じ、倒産が避けられない事業所については円滑な整理を図ることで地域の社会的混乱を未然に防ぐ。	相談、セーフティ共済制度加 入・貸付 23件	中小・小規模 事業者・創業	+12.18	相談件数		+6-16				セーフティ共済加入によっ て連鎖倒産を未然に防ぐ措				自己評価		満足度	補足	目標①	目標②	連鎖倒産を防ぐべ く、引き続き共済制										
				拍標	(達成度	E 176.9	%)	拍標	指標 (達成度 %)		置が講じられ、経営の安定 に寄与した。	総合	, 3	事実 業施	Α	調業者	Α		現行どおり		度の普及に努める。										
事業			者	目標数値	13	実績	23	目標		実績			評価		評側 西の	目標達成度	結への	必要性		実施方法①	実施方法②										
					数値	数値	数値	数値	数値	数値	数値		数値		数值		数値						Α		Α		現行どおり				
	ビジネス支援センターで創業支	創業支援件数 264件 いちのみや起業家セミナー 11月2日~12月14日 (6回) 41名 創業フォローアップ交流会 9月6日 (1回) 31名	中小・小規模 事業者・創業 者	指標	起業家セミナー参加人数			指標				創業相談や起業家セミナー 等を通じ、創業希望者の発	総	4	事実	自己評価	調事	満足度	補足	目標①	目標②	創業希望者の資質向 上を図るべく引き続									
創業支援事業	にシャススを接てファーで削来文 接を行うとともに、地元金融機 関や様々な中小企業支援機関と 連携し問題解決を図る。				(達成度 136.7 %)	%)	(達成月		戊度 %)		掘と創業間もない事業者の フォロー、交流機会の提供	合評		業施 評側	A	查者	A		現行どおり	<u>^</u> るとと	きセミナーを開催するとともに、セミ	0									
				目標 数値													30	実績 数値	41	目標 数値		実績 数値		に寄与した。	価		画の	目標達成度	要果の	必要性	
		- 宮まちゼミ~い5Po~ 観子対象議座 8月1日~8月31日 - 般講座 9月20日~10月31日 参加62店舗、104講座	中小・小規模 事業者	目標				まちゼ	ミ開催	講座数				I	引き続き「親子まちゼミ」		$-\dagger$		自己評価	_	満足度	補足	目標①	目標②	より一層ご愛顧いた						
	店主が講師となりプロならでは の専門的知識や情報を市民へ伝				(達成度			指標目標	(達成度	度 9	%)	が大好評であったこともあり、自社の知名度アップと 新規顧客の開拓に寄与した。	総合評価	A 評.	事実	A	調業	A		現行どおり		だくべく、カリキュ ラムの充実に努め									
街づくり事業	授することで、新規顧客の掘り 起こしと商品・サービスのPRを 支援する。				60	実績	104			実績					評側			必要性		実施方法①		ବ -									
				数值	60	数值	104	数值		数值				"	ш	Α		А		現行どおり											

団体名: 一宮商工会議所

± # 7	古衆原王(北日 口仏)	事業実績	主たる 対象者	事業評価														_				
事業名	事業概要(背景・目的)			目 標①				目 標②			得られた効果				ABCD評価				今後の展開・改			備考
地域産業活性化事業	地域の魅力ある地域資源の振り 起こしとブランド化を行い、地 域経済の活性化と賑わいの創出 に努める。	いちのみや食ブランド推進事業 認定商品数 計65品 展示会出展回数 2回(食品フェ ア、いちいお菓子フェア) 一宮モーニングブロジェクト 参加店 100万 一宮七タまつり 7月25日~28日 だいだいフェスタ大集合 10月5日~10月27日 一宮イルミネーション 10月27日~1月13日	中小・小規模	指標	食ブランド事業展示会 出展回数 (達成度 66.7 %)			指標 (達成度 %)		%)	イベント出展を通じ、地域 住民に食ブランドが浸透す るとともに、地域活性化や 認定事業者の販路拡大にも 寄与した。	総合		事実施	自己評価 B	事業	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標②	引き続き食ブランド のブランドカ向上に 努める。	0(-
			事業者	目標数値	3	実績数値	2	目標数値		実績数値		一個	В	評側価の		結果の	必要性		実施方法①	実施方法②		部含 まれ ず)
形成 京都 販路開拓支援事業 とは ミー	小規模事業者の情報発信や人脈 形成、知名度向上を目的に「一 宮敷合食品フェア」「会員交流 会」を開催。あわせて、動画 とめサイト「Ichimy(子 ミー)」の運営、簡易動画作成 支援等も行り	一宮総合食品フェア 10月19日 15社 採用担当 24社 動画発信サイトIchimy 64社 動画発信サイトIchimy 64社 簡易動画作成支援 0社 メッセナゴヤ共同出展 7社		指標		ゴヤ共同出		指標			メッセナゴヤ共同出展者や 食品フェア出展事業者の販 路開拓に寄与した。	総		事実	自己評価	調事	満足度	補足	目標①	目標②	メッセナゴヤ共同出 展については、新設 した商談会事業に記	· ·
			中小・小規模 事業者	目標数値	(達成度	実績 数値	7	目標数値		%) 実績 数値		合評価	A	業施評側価の	A 目標達成度	査結果の	A 必要性		実施方法①	実施方法②	載し、それに伴い目標①の内容を食品 フェア出展数に変更する。	一部含
	XIX + 011 7 8				正報	 「企業紹介	` 1				所報で企業紹介を行ったこ				自己評価		満足度	補足	変更する 目標(1)	目標②	企業のPRの一助とし	+-
調査・広報事業	管内中小・小規模事業所の業種 別の景況、経済動向の調査と商 工会議所施策の周知・普及を行 う。	広報(所報企業紹介) (4.7.10.1 月) 4件 中小企業景況調査 135件 商工会議所 L O B O (早期景気 観測)調査 10件	 中小・小規模	指標		100.0 %)	-	指標	(達成度	%)	とで、企業PRに寄与した。 各種調査を通じて、地域経	総合		事実業施		調業	M A	THI AC	現行どおり	D 137 C	て引き続き所報へ企 業情報を掲載する。	(-
			事業者	目標	4	実績	4	目標		実績	済の動向把握と本所の事業 活動や行政に対する要望活	評価	A	評側	目標達成度	を基本の	必要性		実施方法①	実施方法②	-	部含まれ
				数値	サニウサト	数値	サール	数値		数值	動の参考となった。	Щ		ш	Α		Α		現行どおり		人类の原田土み ルル	ず)
雇用促進事業	欠な人材確保・育成支援事業を 実施し、地域企業の持続的発展 を支援する。また、 簿記検定試 験等の実施により、企業人材の 能力向上と即戦力化を支援す	簿記検定の実施 3回 令和6年 6月 9日(日) 11月17日(日) 令和7年 2月23日(日) 地元高校と企業採用担当者との 懇談会 5月15日 56社		指標目標的			f数	指標			経営者・従業員の資質向 上、企業の人材獲得の一助 となった。	総	総	事実	自己評価	調事	満足度	補足	目標①	目標②	企業の採用力強化に 向けた新たな事業を 実施する。	<u></u> 0
			中小・小規模 事業者および		(達成度	112.0 %)		(達成度	%)	- Z45/E.	合評		業施評側		查者	Α		現行どおり		夫肥9 句。	部含	
			社員、市民		50) 実績 56 数値 56	56	目標 数値	実績 数値			価		価の	目標達成度	果への	必要性	-	実施方法①	実施方法②		まれ ず)
	వ .			- I		- I			ľ	- I	委員会、分科会を通じ、参				A		Α		現行どおり		経営環境の変化に即	
		中小企業委員会、人材・税制委員会、DX推進委員会 8回 168人 (内、メッセナゴヤ視察 1回		指標	分科	会出席人数	数	指標			加者に国・県等の企業支援 施策を周知することができ た。 メッセナゴヤの視察を通				自己評価	_	満足度	補足	目標①	目標②	応した委員会等を開催し、会の更なる充 実を図る。	
*** * * * * * * *	 	30人) 生成品 技術活用実践事業 ((MS活動) 8社 地域分科会 (萩原) 7回 114人 (萩原) 3回 49人 議員総会 3回 217人 常議員会 7回 185人	 中小・小規模		(達成度	(達成度 271.7 %)			(達成度	%)	じ、最新の技術やサービス に触れることで経営に役立	総合評価	A	事実業施	Α	調業	Α		現行どおり			
部会・委員会事業			事業者	目標	60	実績	163	目標			つ知見を得ることができた。 生成AI活用WGを通じ、中小企業の業務の見直し、業務			評側価の	目標達成度	結果の	必要性		実施方法①	宝① 実施方法②		
				数値		数值	.00	数值		数值	効率化の一助となった。				А		Α		現行どおり			
福利厚生事業	中小・小規模事業者の継続的な 経営安定を図るために各種共済 制度の普及啓蒙を展開し、企業	中小企業共済総口数 365口	中小 小担 带	指標		業共済加入総口数 度 130.4 %)		指標	(達成度	%)	事業所の福利厚生の充実に 寄与した。	総合		事実業施	自己評価	調事	満足度	補足	目標① 現行どおり	目標②	引き続き加入勧奨を 実施する。	£
			中小・小規模 事業者	目標	280	実績	365	目標		実績		評	Α	評側	目標達成度	要情の 君	A 必要性		実施方法①	実施方法②	1	
	の健全な育成に努める。			数値	剱胆 剱1	剱旭		数值		数值	保険料の分割納付による資	価		価の	A	₽ ^ A			現行どおり	新相系红	新規委託事業の加入	+
労働保険事業	労働保険 (労災・雇用保険)の加入手続きや保険料の申告納付、	労働保険料の受託、収納事業所 数 240社 会議、研修会 3回	中小・小規模 事業者	指標	"			指標			金繰りの向上、一定の条件 下ではあるものの事業主や	総		事実	自己評価	調事	満足度	補足	目標①	目標②	促進に努める。	
	各種届出に関する事務手続きを 代行し、労働保険の適用促進と			目標数値	(達成度 120.0 %)			(達成		%)	家族従業員も特別に労災保 険に加入することが可能と	合評		業施評側		査者	Α		現行どおり	- 11-1.10	-	
	労働保険料の適正な徴収を行う。				200	実績 数値	240	目標 数値		実績 数値	なり、中小事業主等の労働 環境の改善の一助となっ た。	価		価の	目標達成度 A	~ o	必要性		実施方法①	実施方法②		
		一宫金属工業会 役員会等 13回 愛知県商店街振興組合連合会一 宮支部 役員会等 4回 一宮市本町商店街	中小・小規模	Alex 100	工業会役員会等開催回数		崔回数	Ale III			各団体の加盟事業所の経営 基盤強化をはじめ事業所同				自己評価	-	満足度	補足	目標①	目標②	諸団体の事業活動を 引き続き支援する。	
産業団体等指導事	地域の商工業者で構成する各諸団体の事業活動を支援すること			指標	(達成度	144.4 %)		指標	(達成度	%)	士の情報交換の場の提供や 技術研究の向上に寄与し		A	事実 業施 評側	Α	調業	Α		現行どおり		」に続き又抜りる	
業	で、各団体に所属する組合員事 業所の基盤強化、地域経済の活		事業者	目標	9	実績	13	目標		実績	t=.				目標達成度	結への	必要性		実施方法①	実施方法②]	1
	性化を図る。	総会 2回		数値	<u> </u>	数値	13	数值		数值		100		,,,,,,	Α	. 0)	Α		現行どおり			

[※] 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に〇を付しています。 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。